

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則に準じ、当大会要項に則して行われます。
2. レーン（コース）および試技順序は主催者側で決定します。なお、フィールドの試技順は、プログラム記載の左上より下へという順序で行います。
3. 選手の招集（コール）は、次のように行われます。

- ① 代理人によるコールは認めません。なお、リレーを兼ねて出場する者で、同時に個人種目が行われるような場合は、その事情を競技者係および必要な審判員に申し出てください。
- ② 招集（コール）の時間は次のとおりです。（リレーのオーダー締切は下記の5参照）
招 集…競技開始40分前に競技者係の所に集まり、アスリートビブスの確認を受けてください。この招集は、競技開始30分前に完了とします。この完了時間を過ぎた者は、競技に出場することはできません。
例 外…男子100m・男子200m・男子1500mの3種目は、出場人数がとくに多いため、ABの2グループに分けて招集を行います。指定された時間に遅れないようにしてください。
- ③ 選手招集場所（コールを受ける所・競技者係の所）は、100mのスタート付近です。
- ④ 招集に遅れた場合には、競技への参加はできないので十分に注意してください。
- ⑤ 男・女4×100mR、4×400mRのオーダー用紙（出場者申告書）の提出は、競技日程表にある締切時間を過ぎた場合には受け付けません。オーダー用紙は競技者係に提出してください。
- ⑥ 棄権する者は、なるべく早めに競技者係にその事を連絡してください。

4. アスリートビブスは胸・背部の両面に確実につけることが必要です。ただし跳躍の選手は片面のみでもかまいません。
5. リレー競技に参加するチームは原則統一されたユニフォームで出場すること。デザインが不揃いでも許容される場合があるが、色については同一にすること。マイルリレーのサイドビブスについては、「大会日程・要項」のP5を参照してください。
6. 競技用具（投てき用具等）は各自持参し、検査を受けて使用許可を受けなければなりません。競技場の用具もできる範囲で貸し出します。
7. 走高跳のバーの上げ方は次のようになります。

男子	(1.50)	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	1.79	1.82	1.85	以降3cm刻み
女子	(1.20)	1.25	1.30	1.35	1.40	1.43	1.46	1.49	1.52	1.55	以降3cm刻み

8. 男女とも、800mの出発は、12名ずつのセパレートスタートを原則とします。
9. トラック競技ではサイドビブスが必要ですので各校で用意してください。なお、男5000mと女3000m、男3000mSCについても、サイドビブスの貸し出しはいたしません。各校にてご用意ください。胸・背部、サイドビブスはレーン番（プログラムORD）で作成してください。安全ピンは各校にて用意してください。
10. フィールド競技の試技数は原則として3回です。ただし、出場人数によっては、本部の判断により6回の場合もあります。砲丸投は最初の有効試技は計測するが、以降その有効試技を越えない限り計測はしない。
11. 競技進行の都合により、男5000mはスタート後20分で打ち切り、女3000mは15分、男3000mSCは13分で打ち切りとします。打ち切りは審判長の判断で行います。
12. ADカードは陸上競技専門部から各支部長を経由し、各校顧問宛に送られます。送られたADカードは指示に従って作成し、大会会場にいる間は必ず携帯してください。
13. 不明な点はどんなことでも大会総務（本部）にお問い合わせください。
14. 競技場の開場時間は8:00となります。入場くじを持参してください。上柚木競技場の開場は年間を通して8:00を予定しています。
15. 不審者を見つけた場合は速やかに近くの審判に伝えてください。
16. 撮影する場合は必ず令和8年度のADカードが見えるように着用してください。着用されていない場合は声がけをさせていただきます。

*ホームページですべての記録が見られます。プログラムのQRコードから読み取れます。

東京都高体連陸上競技専門部 公式ホームページアドレス

<http://www.tokyokotairenrikujo.jp> をごらんください。